

第1学年 生活科 学習指導案

単元名「いきものとなかよしいさくせん」

日 時 平成29年9月29日（金）5校時

場 所 1年教室・外庭

児 童 1学年（男子10名・女子8名）

指導者 海老名 尚子 蛇口 順子

1 児童と単元について

(1) 児童について

児童は、これまでの校庭での遊びや学校の周りの探検を通して、少しずつ身の回りの生き物に目を向けることができるようになってきている。外の活動で小さな生き物を見付けると捕まえようとしたり、休み時間には虫探しに出かけたりして、生き物と触れ合おうとしている児童も多い。しかし、自分で生き物の世話をした経験のある児童や、生き物の世話の仕方、えさの種類が分かるなど生き物に触れて実際に世話をした経験をしている児童は少ない。生き物が好きで昆虫などを捕まえて喜んで教室にもってきた児童も、えさを与えなかったり、いつの間にか忘れてたりと生き物の生命を大切に、根気強く世話をしようとする態度は身に付いているとはいえない。

(2) 題材について

本単元は、学習指導要領の内容（7）「動物を飼ったりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする」に基づいて設定したものである。

本単元では、生き物を飼うことをめあてに、生き物に触れて楽しみ、大切に育てることに重点を置く。学校周辺や地域の自然環境から、児童は季節に応じた生き物を容易に見付けることができる。また、本単元で児童が育てる生き物を、休み時間に遊んでいる校庭で捕獲することにより、繰り返し足を運んで生き物を探したり、その生き物のすみかを調べたりすることが可能になる。以上のことから、児童がこれまでの生き物との関わりをもとに身の回りの生き物について考えたり、新たに発見したことを様々な方法で表現したり、自分の成長についての気づきを深めたりすることに優れた題材である。

2 指導にあたって

(1) 単元構想について

本単元においては、繰り返し対象と関わることを大切にする。同じ場所に繰り返し行ったり、生き物と繰り返し関わったりする活動を通して、生き物を育てたいという意欲を高めるとともに、その生き物を大切にしようとする心情も育てていきたい。児童の思考の流れを具体的に想像し、意欲や気づきの質が高まっていくような指導をしたい。自分で生き物の世話を継続して行った経験の少ない児童のために、生き物についての図書を集めた生き物情報コーナーを設定したり、生き物に詳しい友達からも情報が得られるようにしたりして支援していく。また、朝の時間に「お世話タイム」を設定し、毎日活動し、自分なりの発見ができるようにしたり、その発見を交流し合ったり、互いの頑張りを認め合ったりするようにし、子どもたちの興味と関心が持続できるようにしたい。

第2次では、生き物のすみかを作る活動を行い、自分が捕まえた生き物にとって暮らしやすい環境を作るために、調べたことを生かしたり、友達のすみかのよさを取り入れたりして、生き物が暮らしやすいすみか作りができるようにする。すみかについてのそれぞれの気づきを共有関連付けたりする

ことができるように全体で交流する場を設け、学び合いができるようにする。

第3次では、「むしとなかよし発表会」を行い、自分の育てた生き物に対する気付きや思いを伝え合う場とする。見付けた生き物を紹介し合ったり、飼育を通して感じた自分なりの思いや気付きを伝え合ったりする場にしたい。

(2) 表現活動について

第1次では、畑や広場から捕まえた生き物を図鑑で調べ、生き物の名前や絵を「いきものマップ」に表す活動を行う。第2次では、捕まえた生き物の生息場所を観察し、さらに図鑑を使って、すみかや餌について「すみかカード」にまとめ、実際にすみかを作る活動を行う。第3次では、これまでの生き物と関わる活動における自分の思いや気付きを振り返らせながら、まとめる活動に取り組ませたい。その際、表現方法を紹介しながらイメージをもたせて発表会に向かわせる。一人一人の児童の思いが現れるように、児童の発想を取り入れることにより、活動に広がりをもたせたい。また、生活科の余裕時数や他教科、学活等の時間を用いて、児童の意欲に応じて3次でまとめたものを全校へ広げる活動を考えたい。表現した自分の思いや気付きを、友達や教師に認められたり、ほめられたりする場面を設定することにより、自分の成長やよさに気付かせ、次の学習への意欲へとつなげる。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ◎身近な生き物を探したり飼ったりして、それらの変化や成長、生息環境、生き物は生命をもっていることなどに気付き、生き物の立場ですみかや世話の仕方などを考え、生き物への親しみを持ち、適切な世話をし、大切にすることができるようにする。

〈生活への関心・意欲・態度〉

- ・身の回りにいる虫などの生き物に関心を持ち、それらを探して捕まえたり、それらの餌やすみかを意識して、大切に飼育したりしようとしている。

〈活動や体験についての思考・表現〉

- ・虫などの生き物が育つ場所について考えながら探したり、生き物のために、餌やすみかを工夫して飼育したりして、それをすなおに表現している。

〈身近な環境や自分についての気付き〉

- ・動きや餌といった生き物の特徴や、生き物の育つ場所に気付くとともに、生き物への親しみが増した自分や友達のよさに気付いている。

(2) 単元の指導計画 (10時間)

小単元	過程	主たる活動〈評価規準〉	支 援
第一次 むしをさがそう (3)	つかむ・みとおす (1)	<p>○みんなで生き物探しをする計画を立てる。(1)</p> <p>・夏休みに身の回りで見付けた生き物や、学校で見付けたことのある生き物について紹介し合う。</p> <p>生き物に関心をもち、身の回りで見付けた生き物の様子を進んで話したり、聞いたりして、生き物との触れ合いを楽しもうとしている。</p> <p>◇発言 〈関心・意欲・態度〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物探しや飼育への意欲や目的意識がもてるようにする。 ・今までの経験をもとに、次の活動で必要なものを考えることができるようにする。 ・児童の考えを生かしながら、計画を立てる。
	やってみる (1)	<p>○生き物を捕まえる準備をして、校庭のいろいろな場所で生き物を捕まえる。(1)</p> <p>・生き物を捕まえる準備をする。</p> <p>・校庭のいろいろな場所で生き物探しをする。</p> <p>・捕まえた生き物を見せ合う。</p> <p>草むらや石の裏など、生き物のいそうなところを狙って探している。</p> <p>◇行動観察 〈思・表〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕まえた生き物を入れておく透明な空き容器を用意できるようにする。 ・場所による生息状況の違いに気付かせるため、複数の場所で活動できるようにする。 ・捕まえた生き物を見せ合い、生き物のことを教え合う活動への意欲化を図る。 ・毛虫はむやみに触らないことや活動後に手を洗うことを指導する。
	まとめる (1)	<p>○生き物マップを作る。(1)</p> <p>・生き物を捕まえたときのことについて教え合う。</p> <p>・生き物のことを発表する。</p> <p>自分たちが捕まえた生き物を見せ合ったり、生き物のことを教え合ったりしている。</p> <p>◇発言 行動観察 〈関心・意欲・態度〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを組ませ、互いに教え合う活動ができるようにする。 ・児童が発表した生き物の種類と見付けた場所をマップに整理し、生息環境の違いに意識を向けることができるようにする。
第二次 むしとなかよくなろう (4)	つかむ・みとおす (2)	<p>○捕まえた生き物が元気に育ててほしいという願いをもち、飼い方を調べる。(2)</p> <p>・捕まえた生き物のすみかや餌を調べる。</p> <p>・育てたい生き物の生息場所を観察する。</p> <p>・図鑑で調べたことを、生息場所と比べながらすみかや餌を確かめる。</p> <p>同じ生き物を捕まえた友達と相談したり、捕まえた場所をもう一度見に行ったり、図鑑を見たりするなど、さまざまな方法で生き物の飼い方を調べている。</p> <p>◇会話 行動観察 〈思・表〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、生き物のことを調べられるように図鑑などを用意しておく。 ・国語「ほんはともだち」との関連をもつようにする。

	<p>やってみる(1) 本時7/10</p>	<p>○生き物が暮らしやすいすみか作りをする。(1)</p> <p>・すみかカードを確かめながら、材料を使って生き物のすみかを作る。</p> <p>調べたり、聞いたりしたことや友達との伝え合いをもとに、生息場所、食べ物の観点から生き物が暮らしやすいすみかを作っている。</p> <p>◇行動観察 発言 <思・表></p> <p>生き物の世話をする。「生き物タイム」</p>	<p>・生き物の生息場所に近づけようとしている児童を取り上げて、全体に広げる。</p> <p>・すみかを具体的に考えられるように、材料を準備し、活動しやすいように場を工夫する。</p> <p>・調べたことをそのまま応用するのではなく、なぜそうするとよいのかということを考えるように促す。</p> <p>・生き物の世話の時間を設け、毎日活動し、自分なりの発見ができるようにする。</p>
	<p>まとめる(1)</p>	<p>○生き物の世話をし、自分の生き物に対する思いや気づきを伝え合う。(1)</p> <p>・飼っている生き物の世話をし、観察して見付けたことを記録カードにかく。</p> <p>・観察して気付いたこと絵や文に表して発表し合う。</p> <p>生き物も自分と同じように成長や変化をし、生命をもっていることに気付いている。</p> <p>◇発言 記録カード <気づき></p>	<p>・児童が見付けた気づきや思いを表現できるように、「みつけたよカード」や「付箋」を準備しておく。</p> <p>・国語「わたしのはっけん」との関連をもつようにする。</p>
第三次 生き物となかよしはっぴょうかいをひらこう(3)	<p>やってみる(2)</p>	<p>○「むしとなかよしはっぴょうかい」で、生き物の様子や育て方を友達と紹介し合う。(2)</p> <p>・飼育を通して気付いたことや感じたことを、自分なりの方法で表現する。</p> <p>飼育をして気付いたことを絵や文、クイズなどで、その様子が伝わるように表現している。</p> <p>◇行動観察 <思・表></p>	<p>・児童が自分の得意なことを生かして表現できるように、いくつかの表現方法を提示する。</p> <p>・動かさずにじっと見ることを指導するとともに、「えさ」「動き」「形」などの観察の視点を与えて、特徴を発見しやすいようにする。</p>
	<p>まとめる(1)</p>	<p>○学習のまとめをする。(1)</p> <p>・これから生き物をどうするか話し合う。</p> <p>・自分の飼っている生き物に手紙を書く。</p> <p>・生き物をもといた場所に帰す。</p> <p>生き物と関わり合って生活する楽しさ、自分や友達の成長や気持ちの変化に気付いている。</p> <p>◇発言 会話 <気づき></p>	<p>・話し合いでは、自分が生き物の立場だったらどう思うのかを考えることができるようにする。</p> <p>・飼っていた生き物に手紙を書く活動を通して、これまでの自分と虫との関わりに目を向け、自己の成長を感じられるようにする。</p>

4 本時の指導（7／10）

（1）目標

自分が育てたい生き物について調べたり聞いたりしたことをもとに、その生き物の暮らしやすさを考えてすみかを作ることができる。

（2）本時の展開

種	学習内容と活動	教師の支援
導入 (5分)	1 前時の活動を振り返る。 ・自分がかいた「すみかカード」を確認する。 2 本時の課題を確認する。 すみやすいすみかを くふうして つくろう。	・捕まえた虫は、一時的に違う場所に入れておく。 ・前時に調べた「すみかカード」を配っておく。 ・「すみやすいすみか」とはどのようなものなのか考えることができるように前時想起する。
展開 (30分)	3 前時に調べたことをもとにして、すみかを作る。 (例) ・バッタ, キリギリス: 草を入れる。 ・コオロギ, ダンゴムシ: 石を入れる。 ・カタツムリ: 葉を入れ, 水を入れる。 4 作ったすみかについて, 紹介し合う。 ・すみか作りをした際に, 自分なりに工夫したことについて発表する。	・「すみかカード」にかいたメモを見て, すみか, えさ, 材料などについて確認できるようにする。 ・みんなで使える材料コーナーを作り, 必要なものを自由に使えるようにしておく。 ・個々の思いや願いに共感しながら, 活動の様子を見取る。 ・活動が進んでいる児童には, 互いのすみか作りについて, それがよいすみかとなっているか見合ったり聞き合ったりするように促す。 ・必要感のある伝え合いになるよう, 作ったすみかがその生き物の住みやすいものになっているか見合うようにする。 ・まとめにつながるように児童が工夫した視点で板書する。 調べたり, 聞いたりしたことや友達との伝え合いをもとに, 生息場所, 食べ物の観点から生き物が暮らしやすいすみかを作っている。 〈思・表〉
終末 (10分)	5 作ったすみかに生き物を入れ, 観察し, 課題のまとめをする。 6 本時の振り返りをする。 ・自分の活動や友達の活動のよさについて振り返る。	・全体交流を受けて, 作ったすみかを直したり, 付け加えたりする時間を設ける。 ・「すみやすいすみか」をキーワードに, 全体交流で発表した児童の工夫したところを本時のまとめにする。 ・生き物の動きや餌を食べる様子に注目した発言を取り上げて認め, 次時への意欲が高まるようにする。

（3）評価規準

	ねらいを達成している児童	努力を要する児童への支援	評価方法
思考・表現	自分が育てたい生き物について調べたり聞いたりしたことをもとに, その生き物が暮らしやすいすみかを作っている。	友達ที่作ったすみかを参考にしながら, 育てたい生き物のすみかを考えられるように声がけをする。	・行動観察, 発表 ・振り返りカード

